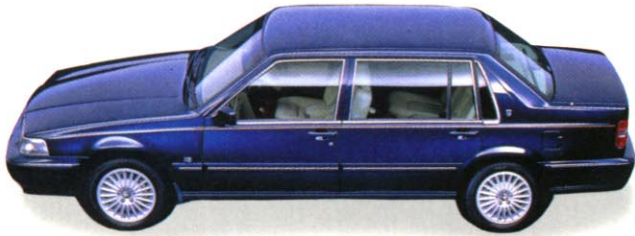


ボルボS90 Royalエルメス
**ボルボとエルメスの
 幸福な結婚について**



©frédéric dumas

限定30台のVOLVO特別仕様車
 エルメスの手掛けた部分はここだ!

エルメス社製の革製部分は以下。フロント&リアシート、フロント&リアセンターコンソール、ドアパネル、ステアリングホイール、ハンドブレーキレバー、アシストグリップ、サンバイザー。このほか、アンブレラホルダー、専用キーホルダー、車検証入れ。なお、外装の色は3色より選択。



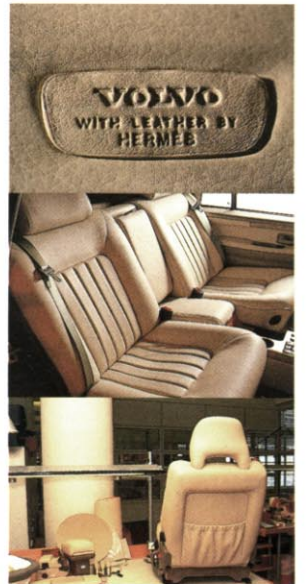
エルメスの男性用ブリーフケース
 『サック・ア・デベッシュ』44万円

特別仕様車には、エルメスのケリーバッグのソフト・シリーズと同じ「トリヨン・クレマンス」という、耐水性を持った革を使用(スイスに棲息する小型の牛から取る)。実は、ボルボとエルメスは緊密な繋がりを持ち、パリのエルメス社長は過去ボルボに乗っていたこともある。

ドアを開けてリアシートに座り、新しい革の匂いを呼吸する。エルメスの職人たちがパリの皮革工房で100%手作りした、その仕上がり具合を吟味しよう。ご紹介するのは、エルメスが内装を手掛けたボルボS90の特別仕様車である。明るく華やいだ贅沢な雰囲気。最上級の安全・快適を謳うボルボS90に新しい魅力が付加されている。エルメスが自動車の内装を手掛けることは、一見奇異に映るかもしれない。が、

1837年創業のエルメスの出口を溯ってみると、それはごく自然なこととして納得できる。王侯貴族のための馬具作りからエルメスの歴史は始まっており、過去、飛行機の内装を手掛けたり、ヤマハのバイクのエルメス仕様をフランス限定で製作したこともある。そう、昔の馬車や馬こそ現代の自動車であり、乗り物や旅行を快適にするのがエルメスの製品なのだ。また実は、エルメスは1986年から1年間ボルボのステーション

ワゴンの内装を担当している。安直でパブリックな特別仕様車とは一線を画しているといっている。発注から納入まで約3か月。やがて握るステアリングホイールもエルメスの革で仕上げられており、その中心部分のマークに目をやると「HERMÈS」という



欧文も小さく刻まれている。このボルボのファーストクラスは限定30台だ(この特別仕様車の価格は850万円)。

写真上・ステアリングホイール中心部に刻まれるマーク。写真中・リアシート部分。写真下・©frédéric dumasパリのエルメス工房で特別仕様車の内装作業中。革を厳選し→縫製し→ロウびき加工を施し→磨き上げる。職人たちが数人がかりで腕を振るう。



**VOLVO S90
 ROYAL HERMÈS**